

都市再生整備計画 事後評価シート

吉野地区

平成29年12月

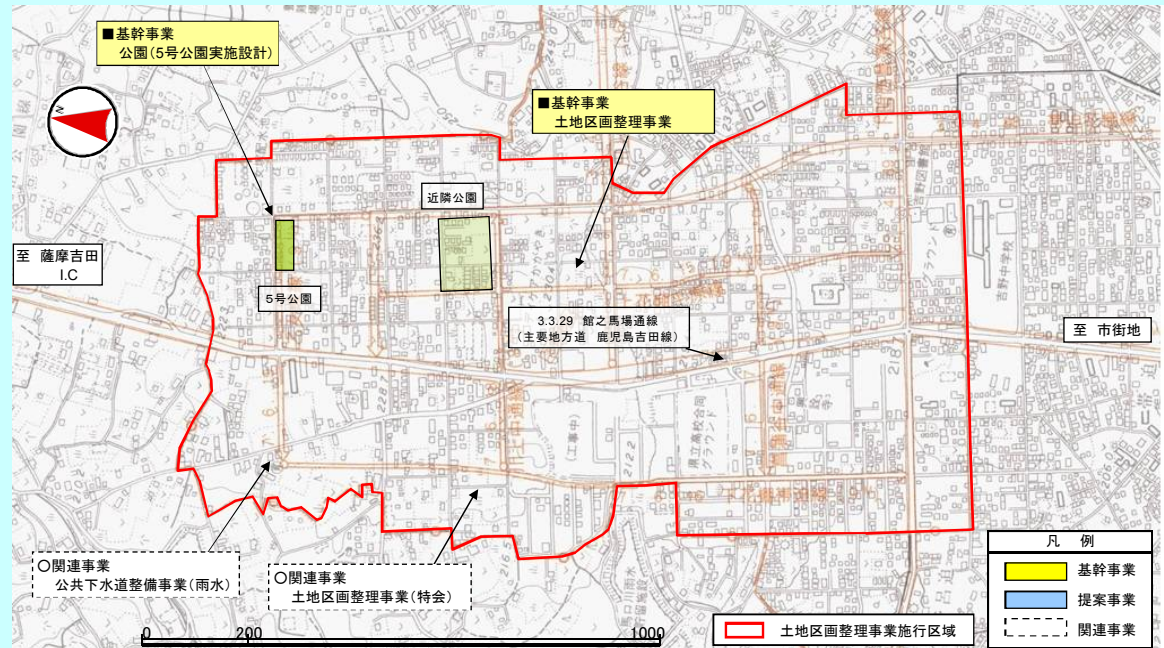
鹿児島県鹿児島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県	市町村名	鹿児島市	地区名	吉野地区			面積	114.1ha			
交付期間	平成26年度～29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	2,407.1百万円	国費率	0.4					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業		公園(5号公園実施設計)、土地区画整理事業(吉野地区)									
	提案事業		なし									
			事業名	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(5号公園、近隣公園:施設整備)	土地区画整理事業の進捗状況から、計画期間内の整備が困難となったため、交付対象事業から5号公園及び近隣公園(施設整備)を削除した。			指標2「公園までの距離」に影響があるため、数値目標を変更した。(当初値157→変更後218)					
	新たに追加した事業	提案事業	なし	-			-					
交付期間の変更	当初変更	平成26年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
	指標1	歩道整備率	%	60	H25	71	H29	77	○	あり なし	幹線道路や生活道路における歩道整備により、歩車道の分離が図られ、歩行者の安全性確保や移動利便性の向上など交通環境の改善につながった。	平成30年5月
	指標2	公園までの距離	m	218	H25	218	H29	218	△	あり なし	公園整備が困難となったことを考慮し実測に即した目標値としたため、評価値は同じ値となった。今後できるだけ早く公園整備を行い、災害時における避難場所として公園までの距離及び移動時間の短縮を図りたい。	-
	指標3	住民の定住意向	%	88	H25	90	H29	88	△	あり なし	評価値が目標値には達していないものの、良好な生活環境が整備されたことにより居住人口が増加していることから、地域住民がまちに住み続けたいと思う定住意向は維持することができた。	平成30年5月
	指標4											
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期	
その他の数値指標1	都市再生整備計画区域内及び周辺地域の居住人口	人	40,520	H25			42,017			土地区画整理事業の推進により、住民が安心・安全に暮らせる良好な生活環境が整備されたことから、区域内及び周辺地域の居住人口の増加につながった。	平成30年5月	
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・宅地の利用増進とともに、道路や公園、緑道などの公共施設の整備により、良好な住環境の形成と都市景観の向上が図られた。 ・狭隘道路の解消により、消防車や救急車等の緊急車両の通行が可能となり、到着時間の短縮も図られ、市民の安心・安全に貢献した。 ・商業施設や医療施設等の立地が進み、市民生活の利便性が向上した。 ・歩道が整備され、またバリアフリー化により歩行者が安心して歩行できる環境が図られた。 											
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス	公園設計にかかる住民アンケート調査	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	地域住民の意見を反映した公園整備に努める。				
持続的なまちづくり体制の構築	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										

様式2-2 地区の概要

吉野地区(鹿児島県鹿児島市) 都市再生整備計画の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 市民生活を支える機能性の高い快適なまちづくり 目標1 交通環境の改善による安全で快適なまちづくりを行う。 目標2 防災性の向上による住民が安心して暮らすことのできるまちづくりを行う。	歩道整備率	単位: %	60	H25	71	H29	77	H29
	公園までの距離	単位: m	218	H25	218	H29	218	H29
	住民の定住意向	単位: %	88	H25	90	H29	88	H29



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業区域内において、主要地方道鹿児島吉田線の整備により交通渋滞が緩和され、また、区域内の大部分の道路で車両が離合できる5m以上の幅員が確保されるなど、安全性と防災性が向上したが、依然として歩行者や車両の通行が困難な幹線道路や生活道路などの未整備区間が残されている。 土地区画整理事業区域内の6公園の整備が完了し、コミュニティの場となる公共空間と災害時の避難場所が確保されたが、区域内の東側に整備すべき2公園(街区・近隣)が残されている。 土地区画整理事業の進捗に伴い、住宅地周辺の交通量が増加してきているため、交通安全施設を整備するなど、歩行者や車両通行の安全性の確保が必要となってきている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 各種事業により改善された良好な住環境を維持するため、市民と協働した公共施設の維持管理に努める。 吉野地区土地区画整理事業区域内において緊急車両の離合が困難な道路が残されていることから、土地区画整理事業により交通環境の改善など居住環境良好な市街地の形成を図る。 土地区画整理事業の進捗に伴い、住宅地周辺の交通量が増加してきていることから、歩行者や車両が安全かつ快適に移動できるよう交通安全施設の整備を図る。